

平成 21 年度

神奈川県立厚木高等学校同窓会

定 期 総 会



日 時：平成 21 年 6 月 27 日(土)午後1時30分より

会 場：厚木商工会議所 5 階 大会議室

## 平成21年度 同窓会総会 次第

会 場：厚木商工会議所 5階・大会議室  
司会進行 事務局長 杉田 泰繁

### 総会次第

#### ○ 物故者への黙祷

- |              |        |       |
|--------------|--------|-------|
| 1. 開会の辞      | 同窓会副会長 | 梅澤 行次 |
| 2. 同窓会長挨拶    | 同窓会会長  | 近藤 俊二 |
| 3. 学校長挨拶     | 同窓会顧問  | 荒木 高司 |
| 4. 来賓紹介、来賓祝辞 |        |       |

#### 5. 議 事 (議長選出：)

- |                         |                       |                         |
|-------------------------|-----------------------|-------------------------|
| ①平成20年度事業報告             | 事務局次長                 | 志村 祐一                   |
| ②同 本部会計決算報告<br>同 会計監査報告 | 事務局会計<br>会計監査<br>会計監査 | 足立原 泰<br>大津 博康<br>佐藤 裕洋 |
| ③平成21年度事業計画案            | 事務局次長                 | 志村 祐一                   |
| ④同 本部会計予算案              | 事務局会計                 | 足立原 泰                   |
| ⑤その他                    |                       |                         |

#### 6. 報告事項

- |              |     |       |
|--------------|-----|-------|
| ①学校報告        |     |       |
| 7. 進路の状況     | 事務局 | 須藤 福治 |
| 4. 部活動の状況    | 事務局 | 内田 憲夫 |
| ②かながわ校歌祭について | 事務局 | 小島 富司 |

#### 7. 閉会の辞

同窓会副会長 石川 範義

#### 8. 講演会

- 講 師 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院院長  
田 口 芳 雄 氏 (高校21回 荻野戸陵会)
- 演 題 『健康講話 脳卒中 について』

(講演会終了後 集合写真撮影 5階 大会議室)

### 懇親会

午後3時40分より (会 場：1 階 ロビー)

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1. 開会の言葉     | 副会長      |
| 2. 乾杯        | 参加最年長同窓生 |
| 3. 懇談        |          |
| 4. 校歌斉唱、万歳三唱 |          |
| 5. 閉会の言葉     | 副会長      |

以上

## 平成20年度 事業報告

### 1. 行事関係

20年4.13(日)	創立106周年開校記念日	厚木高校
4.20(日)	津久井支部会	寿司「福ずし」
5.6(振替休日)	第8回 地引き網会	鶴沼海岸「堀川網」
5.10(土)	伊勢原戸陵会	伊勢原「こみや」
5.18(日)	大和戸陵会	「大和グランドホテル」
6.21(土)	愛川戸陵会	愛川「川正旅館」
6.21(土)	海老名戸陵会	「ザ・ウィングス海老名」
7.5(土)	平成20年度総会及び懇親会	厚木商工会議所
7.27(日)	厚木連合戸陵会総会	飯山「元湯旅館」
9.20(土)	相模原両青会	相模原市民会館
10.11(土)	第3回 かながわ校歌祭	横須賀芸術劇場
11.15(土)	秦野戸陵会	秦野市文化会館
11.16(日)	同窓林下刈り	愛川町南山「憶い出の杜」
21年2.1(日)	津久井支部会	寿司「福ずし」
3.1(日)	御所見戸陵会	御所見市民センター
3.2(月)	第61回 卒業式	厚木高校
3月下旬	同窓林下刈り	(中止となりました)

### 2. 各種事業関係

#### 1) 校歌祭関係

- ・第3回 かながわ校歌祭準備会 10月まで6回開催
- ・第4回 かながわ校歌祭準備会 3月末まで3回開催

#### 2) 支部支援活動

- 3) 広報活動 (会報第42号発行 7月5日総会当日)

平成20年度 収支決算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

平成21年6月27日  
厚木高校同窓会  
(単位:円。▼:減収。▲:支出過)

項 目		予 算 額	決 算 額	増 減
収 入 の 部	1 会費	3,500,000	6,338,000	2,838,000
	2 入会金	1,939,000	1,792,000	▼147,000
	3 寄附金	500,000	629,000	129,000
	4 総会懇親会参加費	300,000	272,000	▼28,000
	5 雑収入	10,000	1,050,483	1,040,483
	6 前年度繰越金	6,415,809	6,415,809	0
	収入合計(A)	12,664,809	16,497,292	3,832,483
支 出 の 部	1 事業費	2,570,000	2,027,416	542,584
	①各支部等活動参加費	400,000	360,000	40,000
	②かながわ校歌祭	250,000	358,334	▲108,334
	③懐い出の社維持管理費	150,000	88,905	61,095
	④地引き網	100,000	50,000	50,000
	⑤同期会活動助成費	600,000	400,000	200,000
	⑥茅賞	70,000	60,086	9,914
	⑦部活動補助費	300,000	0	300,000
	⑧卒業記念品	200,000	173,250	26,750
	⑨厚高新聞購入費	500,000	536,841	▲36,841
	2 管理運営費	3,500,000	2,962,998	537,002
	①総会等開催費	550,000	572,516	▲22,516
	②出張交通旅費	100,000	110,000	▲10,000
	③通信費	50,000	36,130	13,870
	④印刷複写費	50,000	149,750	▲99,750
	⑤会費振込等手数料	150,000	114,995	35,005
	⑥事務用品費	250,000	347,655	▲97,655
	⑦会議費	150,000	312,473	▲162,473
	⑧組織運営費	2,000,000	1,088,684	911,316
	⑨慶弔費	100,000	127,000	▲27,000
⑩交際費	100,000	103,795	▲3,795	
3 広報活動費	1,400,000	412,554	987,446	
①広報活動検討費	400,000	223,554	176,446	
②同窓会報発行費	1,000,000	189,000	811,000	
4 雑費	50,000	221,037	▲171,037	
5 予備費	5,144,809	0	5,144,809	
支出合計(B)	12,664,809	5,624,005	7,040,804	
次年度繰越金(A)-(B)		0	10,873,287	

## 平成20年度 母校教育振興基金収支決算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：円)

(1) 収入の部		
前年度繰越金	9,554,616	
雑収入(預金利息)	4,720	
合 計	9,559,336	・・・①
(2) 支出の部		
自習室・エアコン設置費用	1,180,305	
自習室・カーテン	108,969	
自習室・机、椅子	669,900	
旧体育館屋根塗装費用	4,189,500	
同振込み手数料	840	
サマーセミナー補助	186,375	
合 計	6,335,889	・・・②
(3) 残 金	①－②より	3,223,447 (平成21年度へ繰越いたします)

## 平成20年度 部活動支援基金収支決算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：円)

(1) 収入の部		
前年度繰越金	4,862,457	
雑収入(預金利息等)	75,495	
合 計	4,937,952	・・・③
(2) 支出の部		
ダンスドリル部	320,000	
吹奏楽部	392,000	
吹奏楽部	329,000	
ダンスドリル部	36,000	
新聞部	160,560	
文藝部	19,999	
囲碁将棋部	40,590	
合 計	1,298,149	・・・④
(3) 残 金	③－④より	3,639,803 (平成21年度へ繰越いたします)

## 財 産 目 録

平成21年3月31日 現在

(単 位 : 円)

1. 現 金	231,896
2. 普通預金	10,641,391
3. 定期預金	2,000,000
4. 母校教育振興基金	3,223,447
5. 部活動支援基金	3,639,803

・ ※ 正 味 財 産 19,736,537

## 監 査 報 告 書

神奈川県立厚木高等学校同窓会 平成20年度の会計について、帳簿等を慎重かつ厳正に監査した結果、正確に整備・記帳されていて、その内容はいずれも適正であると認めます。

平成21年5月29日

会計監査 大 津 康



会計監査 佐 藤 裕 洋



平成21年度 事業計画 (案)

◎ (年間行事)

21年4.13(月)	創立107周年開校記念日	厚木高校
5.6(振替休日)	第9回 地引き綱会	鶴沼海岸「堀川綱」
5.9(土)	伊勢原戸陵会	伊勢原「こみや」
5.17(日)	大和戸陵会	大和「北京飯店」
5.30(土)	座間戸陵会	座間神社
6.20(土)	愛川戸陵会	愛川「川正旅館」
6.27(土)	平成21年度総会及び懇親会	厚木商工会議所
7月下旬	厚木連合戸陵会	飯山「元湯旅館」
9.13(日)	相模原両青会	相模原市民会館
9.13(日)	校歌祭練習会	厚木高校
10.10(土)	第4回 かながわ校歌祭	厚木市文化会館
(10月～11月)	同窓林憶い出の杜に親しむ会	愛川町南山「憶い出の杜」
11月	秦野戸陵会	秦野「 」
22年2月	津久井支部会	津久井「 」
3月	第62回 卒業式	厚木高校
3月	御所見戸陵会	御所見市民センター

◎ (各種事業)

\*第4回 校歌祭準備会 10月までに3～4回開催

第5回 校歌祭準備会 3月までに2～3回開催

\*支部支援活動

\*広報活動 (会報第43号発行 6月1日)



## 平成21年度予算(案)

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

平成21年6月27日

厚木高校同窓会

項 目	予 算 (概:円)	前年度比、備考
収入の部	1 会費	3,500,000 0 (2000円×1750人)
	2 入会金	2,268,000 329,000 (7000円×324人)
	3 寄附金	500,000 0
	4 総会懇親会参加費	300,000 0
	5 雑収入	10,000 0
	6 前年度繰越金	10,873,287 4,457,478
	収入合計(A)	17,451,287 4,786,478
支出の部	1 事業費	3,770,000 1,200,000
	①各支部等活動参加費	400,000 0
	②かながわ校歌祭	600,000 350,000 梓社散
	③憶い出の杜維持管理費	400,000 250,000
	④地引き網	100,000 0
	⑤同期会活動助成費	600,000 0
	⑥茅賞	70,000 0
	⑦部活動補助費	300,000 0
	⑧卒業記念品	200,000 0
	⑨厚高新聞購入費	600,000 100,000 紙への取替付
	⑩同窓会資料室整備費	500,000 500,000 隠蔵箱設置
	2 管理運営費	3,900,000 400,000
	①総会等開催費	600,000 50,000
	②出張交通旅費	100,000 0
	③通信費	50,000 0
	④印刷複写費	150,000 100,000
	⑤会費振込等手数料	150,000 0
	⑥事務用品費	350,000 100,000
	⑦会議費	300,000 150,000
	⑧組織運営費	2,000,000 0
	⑨慶弔費	100,000 0
	⑩交際費	100,000 0
	3 広報活動費	1,400,000 0
①広報活動検討費	400,000 0	
②同窓会報発行費	1,000,000 0	
4 雑費	50,000 0	
5 予備費	5,331,287 186,478	
6 定期預金振替	3,000,000 3,000,000	
支出合計(B)	17,451,287 4,786,478	

## 20 進 路 状 況

### 1 進学状況

(1) 平成21年春大学等入学状況内訳

平成21年5月2日現在

年	区分	卒業 者数	進学 希望者 数	進 学 者 数					入学率
				四年制大学		短期大学	専修学校 大学校等		
				国公立	私 立				
21年春 (2009年)	現役	270		221	59	159	1	2	82%
	既卒		57	53	12	41	0	1	93%
20年春 (2008年)	現役	316		241	52	185	2	2	76%
	既卒		74	64	20	43	0	1	85%
19年春 (2007年)	現役	314		240	54	180	4	2	76%
	既卒		85	81	22	58	1	0	95%
18年春 (2006年)	現役	319		222	60	153	1	8	70%
	既卒		73	71	16	55	0	0	97%
17年春 (2005年)	現役	316		239	56	170	4	9	76%
	既卒		98	82	27	53	1	1	84%

### (2) 国公立大学合格者数

<国立大>

( )内は既卒者

学 校 名	21年春	20年春	19年春
旭川医科	1 (0)		
岩手		1 (1)	
大阪			2 (2)
お茶の水女子	1 (0)	1 (1)	
金沢	1 (0)	1 (0)	
北見工業		1 (1)	
鹿屋体育			1 (1)
九州		1 (0)	
京都	3 (2)		2 (2)
埼玉			3 (0)
静岡	1 (0)		
島根			
信州		1 (0)	2 (1)
千葉	5 (1)	4 (1)	3 (2)
筑波	2 (0)	5 (0)	5 (0)
電気通信	3 (1)	4 (2)	4 (2)
東京	2 (0)	3 (1)	8 (2)

学 校 名	21年春	20年春	19年春
東京医科歯科		1 (1)	
東京外国語	1 (0)	1 (1)	4 (0)
東京海洋		1 (0)	
東京学芸	3 (0)	1 (0)	4 (1)
東京工業	6 (0)	7 (2)	8 (4)
東京農工	7 (1)	4 (2)	4 (0)
東北	4 (0)	2 (0)	2 (0)
徳島	1 (0)		
名古屋		1 (1)	1 (0)
浜松歯科		1 (1)	
一橋	1 (1)	2 (1)	1 (1)
福井			
北海道	1 (0)	1 (1)	4 (2)
北海道教育			
山形		1 (1)	
山口	1 (0)		
山梨	2 (1)		
横浜国立	14 (3)	10 (2)	10 (3)
国立大 計	61 (11)	55 (20)	68 (23)

<公立大>

学校名	21年春	20年春	19年春
大阪市立		1 (0)	
岡山県立			1 (0)
神奈川県立保健福祉		2 (0)	1 (0)
北九州市立			1 (0)
首都大学東京	12 (4)	12 (1)	6 (0)
都留文化		1 (0)	
前橋工科			1 (0)
横浜市立	6 (2)	7 (0)	6 (0)
公立大計	18 (6)	23 (1)	16 (0)

<大学校>

学校名	21年春	20年春	19年春
防衛医科大学校		1 (1)	
防衛大学校			1 (1)
大学校計	0 (0)	1 (1)	1 (1)

(3) 私立大学合格者数

( )内は既卒者

学校名	21年春	20年春	19年春
青山学院	48 (8)	79 (9)	42 (2)
麻布	2 (0)	9 (3)	4 (3)
桜美林	1 (0)	7 (1)	3 (0)
大阪大谷			1 (1)
大妻女子			5 (1)
学習院	4 (2)	12 (2)	4 (1)
学習院女子	2 (0)	1 (0)	1 (0)
神奈川	23 (2)	31 (2)	39 (6)
神奈川工科		2 (1)	
神奈川歯科			1 (1)
鎌倉女子	2 (0)		2 (0)
関西			2 (0)
関東学院		1 (0)	4 (2)
北里	18 (1)	12 (3)	13 (6)
京都女子	1 (0)		
共立女子		2 (0)	1 (0)
共立薬科			1 (1)
杏林	5 (2)	1 (1)	3 (0)
国立音楽		1 (0)	1 (0)
慶応義塾	31 (7)	33 (9)	42 (12)
工学院	2 (0)		3 (0)

学校名	21年春	20年春	19年春
國學院	8 (3)	6 (0)	3 (2)
国際医療福祉	2 (0)	2 (1)	6 (2)
国際基督教	4 (1)	2 (0)	1 (0)
国士館		3 (1)	2 (0)
駒澤	7 (1)	8 (1)	11 (0)
駒沢女子			2 (0)
相模女子	1 (0)		1 (0)
産業能率		1 (0)	
静岡産業			1 (0)
実践女子		2 (0)	2 (0)
芝浦工業	12 (1)	14 (1)	9 (3)
順天堂	1 (0)		
城西			1 (1)
上智	15 (5)	20 (3)	27 (13)
昭和	1 (0)	3 (1)	1 (0)
昭和音楽		1 (0)	1 (0)
昭和女子	1 (0)	1 (0)	6 (1)
昭和薬科	10 (0)	4 (2)	2 (1)
女子美術			1 (0)
白梅学園			2 (0)
白百合女子		1 (0)	2 (0)
成蹊	4 (0)	5 (2)	2 (0)
成城	8 (2)	5 (0)	3 (1)
聖マリアンナ医科			1 (1)
専修	19 (6)	14 (3)	18 (3)
創価	5 (0)		2 (0)
大東文化			2 (0)
拓殖	1 (1)		
多摩		1 (0)	1 (1)
玉川	6 (0)	11 (1)	9 (1)
中央	68 (8)	57 (9)	66 (12)
津田塾	3 (2)	4 (0)	1 (0)
帝京	7 (1)	2 (0)	3 (0)
帝京平成			1 (0)
東海	8 (1)	13 (2)	8 (4)
東京医療保健	4 (1)	1 (0)	3 (0)
東京音楽	1 (0)	1 (0)	1 (0)
東京家政	3 (0)	2 (0)	
東京家政学院		1 (0)	2 (1)
東京工科		1 (0)	

学 校 名	21年春	20年春	19年春
東京歯科	1 (0)		
東京女子	5 (2)	2 (1)	4 (1)
東京女子医科	1 (0)		
東京女子体育		1 (1)	
東京電機	2 (0)		2 (0)
東京都市	11 (2)		
東京農業	4 (2)	14 (4)	11 (1)
東京薬科	7 (1)	4 (0)	6 (2)
東京理科	51 (7)	50 (10)	37 (12)
同志社	1 (0)		3 (3)
東邦	2 (1)	1 (0)	1 (0)
桐朋学園		1 (0)	
東洋	6 (1)	2 (1)	7 (1)
東洋英和女学院		1 (0)	7 (0)
獨協医科			1 (0)
新潟薬科			1 (0)
二松學舎	1 (0)		
日本	18 (4)	27 (11)	15 (5)
日本歯科	1 (0)		
日本獣医生命科学	3 (0)	1 (1)	1 (1)
日本女子	8 (1)	15 (1)	18 (5)
日本女子体育		2 (0)	
日本薬科			1 (1)
フェリス女学院	2 (2)	3 (0)	4 (0)
文化女子			1 (0)
文教			3 (0)
法政	34 (8)	28 (11)	47 (11)
星薬科	6 (0)	1 (0)	3 (1)
武蔵		2 (2)	
武蔵工業		16 (2)	14 (5)
武蔵野	5 (0)	3 (1)	7 (2)
武蔵野美術		1 (0)	
明治	103 (28)	74 (21)	84 (18)
明治学院	8 (2)	16 (5)	19 (4)
明治薬科	1 (0)	1 (0)	1 (0)
明星		2 (0)	
目白			1 (1)
横浜薬科	1 (0)	1 (0)	2 (1)
酪農学園	1 (1)		1 (1)
立教	40 (9)	49 (12)	51 (13)

学 校 名	21年春	20年春	19年春
立命館	1 (0)	4 (1)	2 (0)
和光		1 (0)	
早稲田	63 (21)	77 (23)	69 (26)
私立大 計	725 (147)	773 (167)	800 (198)

#### (4) 短期大学合格者数

<公立短大>

( )内は既卒者

学 校 名	21年春	20年春	19年春
公立短大 計	0 (0)	0 (0)	0 (0)

<私立短大>

学 校 名	21年春	20年春	19年春
青山学院女子短	2 (0)		1 (0)
大妻女子大短			1 (0)
共立女子短		1 (0)	
上智短	1 (0)	1 (0)	
昭和女子大短			2 (0)
女子美術大短			1 (0)
高崎健康福祉大短		1 (0)	
東海大医療技術短	1 (0)		1 (0)
東京農業大短			1 (1)
立教女学院短			1 (0)
私立短大 計	4 (0)	3 (0)	8 (1)

#### (5) 専門学校合格者数 ( )内は既卒者

学 校 名	21年春
日本菓子	1 (0)
神奈川社会福祉	2 (0)
東京会計法律	1 (1)
専門学校 計	4 (1)

## 2 就職状況

年度別就職者数

年	人 数
H21 (2009)	0
H20 (2008)	0
H19 (2007)	0

## 第4回 かながわ校歌祭について

- 1 主催  
かながわ校歌振興会（参加同窓会の集まり）  
神奈川県教育委員会が共催、今年も参加同窓会出身の県議会議員が参与会を構成し、応援をする。
- 2 日時  
平成21年10月10日（土） 午後0時から5時まで
- 3 会場  
厚木市文化会館（小田急線 本厚木駅下車徒歩12分）
- 4 参加校  
秦野 希望ヶ丘 横浜平沼 小田原 厚木東 横須賀大津  
小田原城内 横須賀 上溝 神奈川工業 横浜翠嵐 県商工  
湘南 平塚江南 逗子 横浜緑ヶ丘 県藤沢 大秦野  
川崎 横浜立野 光陵 相原 平塚農業 厚木
- 5 校歌祭における厚木高校同窓会の役割と役員体制  
校歌祭実行委員会・・・副委員長（近藤 俊二） 会計（石塚 修）  
第4回かながわ校歌祭（厚木高校同窓会が主管）  
実行委員長・・・近藤 俊二  
同事務局・・・梅澤 行次 小島 富司  
同実行部局・・・実行委員（志村祐一） 舞台（森住照雄） 会場（長嶋克佳）  
( )
- 6 厚木高校の参加体制  
同窓会員・・・同窓会総会や各支部会での呼びかけで総勢200～250名ほど参加をしたい  
現役生徒・・・同窓会員に劣らぬくらいの人数になるように参加を呼びかけたい
- 7 練習会  
9月13日（日）午後1時30分から厚木高校中庭にて練習会を行う。校歌・第一応援歌の練習、校歌祭当日の集合時間・服装・振り付け等の連絡を行う。
- 8 校歌祭終了後の懇親会について  
校歌祭終了後（午後5時過ぎに終了予定）、ロワジュールホテルにて開催の予定。

第5回かながわ校歌祭は、横浜翠嵐高校同窓会が実行委員長を務め、10月に横浜で行われる予定です。

## 講 演 会

演 題： 『 健康講話 脳卒中について 』

講 師： 田 口 芳 雄 氏

(高校21回卒 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院院長)

### 講師プロフィール

1950年神奈川県厚木市荻野生まれ。1969年県立厚木高等学校卒業、1975年東京慈恵会医科大学卒業後、同大学大学院医学研究科に入学、1979年同大学院博士課程修了。1978年東京大学医学部付属東京大学病院非常勤医師(神経内科)、1979年東京慈恵会医科大学脳神経外科助手、同大学医学部付属病院脳神経外科医員を兼ね、1980年神奈川県立厚木病院派遣、1981年派遣終了後、東京慈恵会医科大学脳神経外科助手に復帰、1982年から84年まで米国カリフォルニア大学に留学、1986年聖マリアンナ医科大学脳神経外科医長、同大学脳神経外科助教授、同大学横浜市西部病院救命救急センター副センター長、同病院の神経外科副部長、部長を経て、2004年同大学脳神経外科教授、同大学横浜市西部病院副院長、2006年同病院院長に就任、現在に至る。

## 脳卒中とは

脳卒中は脳血管障害の総称として使用される医学用語である。しかし、正確に言えば同義ではない。そもそも卒中という用語自体医学用語としては適切性を欠く。広辞苑によれば、卒中とは卒中風の省略形で、中風とも呼ばれ、脳血管の障害によって突然意識を失って倒れ深い昏睡状態に陥る症状であって、病名ではないのである。文字通りみれば、突然当たることだが、西洋では stroke of God' hand (神の手による一撃)、つまり、神の手に当たり、東洋では風に当たる(中風)のである。いずれにしても、脳卒中は古来、超常現象とされ、突然発症する脳血管障害なのである。したがって、同じ脳血管障害でも脳動脈硬化症による脳血管性痴呆などは脳卒中の範疇には入らない。

さて、わが国の死因統計をみると悪性新生物が第1位であるが、脳卒中は単一臓器の致死的疾患としては最多といってよい疾患である。年間発症患者数は人口10万人あたり約200人である。要介護患者の約40%が脳卒中患者であり、その医療費は年間2兆円といわれる。さらに眼に見えない人的資源の投入、家族の精神的、経済的負担は計り知れないものがある。したがって、わが国の将来を考えたとき、脳卒中对策は医療施策上、最重要課題の一つといえる。

## 脳血管の解剖

脳卒中を理解するためには脳血管の解剖を知る必要がある。脳に血液を供給する主な血管は、内頸動脈から分岐した前大脳動脈、中大脳動脈と、椎骨脳底動脈から分かれた後大脳動脈である。これらが左右の大脳半球にほぼ対照的に存在している。これらから分岐した比較的大きい血管は、脳と脳を被うくも膜の間、つまり、くも膜下腔というすき間にある。ちなみに、くも膜下腔は水様透明な脳脊髄液によって充たされている。それぞれの血管は脳底部で前、および後交通動脈によってお互いに交通している。そればかりでなく、これらは末梢においても交通性があるので、1本が閉塞した場合にも側副血行路を介して血液が供給される。ただし、必ずしも十分な側副血行路ではないので脳梗塞に陥るのである。これに対し、脳を貫くように走行する細い動脈は多くが側副血行路を持たないので詰まれば梗塞になりやすいが、環流している範囲が小さいので梗塞巣も小さい。

## 脳卒中の分類

現在、世界的に繁用されている脳血管障害分類は米国で考案された NINDS (National Institute of Neurological Disorders and Stroke) 分類 III である。臨床的分類、病理学的分類、リスクファクターと予防からみた分類、臨床評価からみた分類など多様で複雑であるので、突然発症する脳血管の病気という観点から脳卒中を簡便に分類すると、表1のようになる。まず、頭の中に出血する病気か、脳に血液が行きにくくなる病気(虚血性疾患)かを区別する。

出血の代表は、長年にわたる高血圧が原因となり脳実質内に出血する高血圧性脳出血と、主に脳動脈瘤（脳血管の分岐部にできる風船状の膨らみ）が破裂してくも膜下腔に出血するくも膜下出血である。これらに比較すると頻度は低いですが、若い年齢では先天性な動静脈奇形による頭蓋内出血がある。

虚血性疾患の代表は脳梗塞である。これは、血液が通わなくなることによって脳の細胞が機能しなくなり、手足の麻痺や、失語という言葉が出なくなったりする症状がみられ、しまいには脳細胞が死滅してしまう病気である。脳細胞が死滅する前に脳への血流が再開すれば、症状は良くなり、後遺症を残さない。厳密には問題点はあるが、この場合、脳梗塞ではなく一過性脳虚血発作という。虚血の原因として、1) 血管が詰まる状態と、2) 詰まっただけではないけれども血管が狭い、あるいは血圧が下がり中を流れる血液量が減ってしまう状態を区別する。1) は、頸部や頭蓋内の比較的大きい血管の動脈硬化（多くはアテローム性動脈硬化といい、脂肪成分が血管の内側に貯留し、血管を狭くする状態）に基づく血液の固まり（血小板血栓）や硬化物質そのものがはがれて、その先の血管を閉塞するアテローム血栓性脳梗塞や、心臓の中にできた血液の固まり（血栓）が血流に乗って脳に運ばれ脳血管を閉塞する心原性塞栓による脳梗塞、脳を貫くように走行する小さい動脈に変性が起こり、小動脈が閉塞するラクナ梗塞がある。2) は血行動態的虚血といい、虚血の程度が重症であるか、長時間続いた場合には脳梗塞が起こる。一過性脳虚血発作は脳梗塞と同じメカニズムで発症すると考えられ、20-40%の症例は5年以内に脳梗塞を発症するというデータから、脳梗塞と同様に対処すべきである。

表1 脳卒中の簡便な分類

出血

- 1) 脳出血 2) くも膜下出血 3) 動静脈奇形による頭蓋内出血 4) その他

虚血

- A) 一過性脳虚血発作

B) 脳梗塞

- (1) アテローム血栓性脳梗塞 (2) 心原性塞栓 (3) ラクナ梗塞 (4) その他

C) 血行動態的虚血



## 脳卒中の最近の治療方法

脳卒中は発症後早期（急性期）と、ある時期を経過した慢性期では治療の目的が異なるので、急性期と慢性期に分けて最近の治療方法を述べる。

### 1. 急性期治療

脳卒中急性期治療の目的は病態の如何を問わず、a. 血圧、呼吸などの生命徴候を適正にコントロールすること、b. 血糖を含め血液生化学的データを適正な範囲に維持すること、c. 二次的脳損傷（出血や梗塞によって脳が障害されることを一次的脳損傷といい、引き続いて起こる脳浮腫や頭蓋内圧亢進に伴う脳の障害を二次的脳損傷と呼ぶ）を回避すること、d. 肺炎などの合併症を予防すること、e. 早期にリハビリテーションを開始することである。しかし、二次的脳損傷の予防という点では病態別に異なるので、以下、脳卒中分類に従って最近の治療方法を述べる。

#### 1) 脳出血

脳卒中急性期治療の指針に従い、多くの症例は薬物を使用した内科的治療で対処する。外科的治療は救命や二次的脳損傷回避を目的とすることが多く、機能回復について多くを望むことはできない。血腫除去によって機能的にも好結果が期待できる出血は、小脳出血と皮質下出血である。血腫除去法には、開頭法と小孔から血腫を吸引除去する方法（定位脳手術や内視鏡手術）があるが、トレンドは低侵襲手術である。

#### 2) くも膜下出血

成人のくも膜下出血の原因は大部分が脳動脈瘤破裂である。破裂脳動脈瘤によるくも膜下出血の治療は次の3点、a. 再破裂の防止、b. 脳血管攣縮対策、c. 水頭症の治療、に要約できる。

a. 再破裂の防止：動脈から出血するので簡単には止血しそうにないが、出血量は予想されるほど多くはなく、最初の脳動脈瘤破裂による死亡率は約15%である。多くの症例は止血された状態で病院に搬入される。ただし、生傷を擦れば容易に再出血するように、負荷が加われば破裂脳動脈瘤は再破裂する。再破裂するたびに死亡率は跳ね上がる。そこで、出血源の処理を第一に行う必要があり、現在2種類の方法がある。一つは開頭手術による脳動脈瘤クリッピングである。これは手術用顕微鏡下に動脈瘤頸部をチタン製のクリップで挟み、正常の脳動脈から血流を遮断する方法である。もう一つは血管内手術手技によるコイルリングである。これはカテーテルと呼ばれる細い管を動脈に挿入し、動脈瘤の近辺まで誘導する。更に細いカテーテルを先に留置したカテーテルの中に通し、先端に装着したプラチナ製コイルで脳動脈瘤を内側から詰める方法である。開頭手術を要しないので最近急速に普及している。ただし、脳動脈瘤の容積と詰めたコイルの総容積を比較すると、

コイル容積は25%程度であることを知らなくてはならない。残りの75%はコイルを詰めることによって中の血液が固まり（血栓化）再破裂を防止するのである。

b. 脳血管攣縮対策：再出血防止ができてはまだ安心できない。一般に出血後7-10日をピークに2-3週間、脳血管径が細くなる現象が起こり、これを脳血管攣縮と呼ぶ。脳血管が糸のように細くなると、十分な血液が流れなくなり、ついには脳梗塞に至る。これが全体に及べば死に直結するし、そうでなくても機能障害が残る。メカニズムは現在も不明であるので特効薬はない。したがって、前期の時期には血管拡張薬を使用しつつ、脳循環を保つために意図して血圧を上昇させ、循環血液量を増加させ、血液粘度を低下させて脳梗塞を予防する。

c. 水頭症の治療：脳血管攣縮の時期を無事に乗り越えると、最後の関門として水頭症がある。これは脳脊髄液という水が脳室という場所に溜まってしまいう現象である。治療法はシリコン製の管と圧制御バルブを用いて過剰な脳脊髄液を頭蓋外に排除するシャント手術である。具体的には、脳室と腹腔を連結するように管を留置する脳室腹腔シャント術が一般的である。

### 3) 脳梗塞

先に述べたように、大きな血管が詰まると脳虚血から脳梗塞に進展し、これをコアと呼んでいる。梗塞を起こした周囲は虚血状態ではあるが、側副血行路などによってまだ死に至らない部分がありペナンプラと呼ぶ。血流が再開すればペナンプラを梗塞から救うことができる。したがって、脳梗塞急性期の薬物治療は血流再開が目的である。これらは血栓溶解療法、抗凝固療法、抗血小板療法である。

#### a. 血栓溶解療法

血液凝固によって生じた血栓（フィブリン血栓という）はプラスミンという生体内に存在する物質によって溶解される。このプラスミンを増加させる治療法が血栓溶解療法である。ウロキナーゼや組織プラスミノゲンアクチベータ(t-PA)といった薬物が使用されるが、わが国では2005年10月使用許可が下りて以来、血栓への親和性が高いために脳梗塞の病型を問わずt-PAが推奨されている。ただし、頭蓋内出血の危険性があるので、日本脳卒中学会により作成された適正治療指針に従って使用しなければならない。

#### b. 抗凝固療法

血栓が形成される過程には多くの凝固因子が連鎖的に働いている。これらの凝固因子を阻害することによって血栓形成を抑制する治療が抗凝固療法である。抗凝固薬にはヘパリン、アルゴトロバンなどがあるが、わが国の脳卒中治療ガイドライン2004では後者が推奨されている。共通する副作用は出血である。

#### c. 抗血小板療法

血管の最内層を構成する内皮細胞が障害されると血液中の血小板の粘着と凝集が起こり、血小板血栓が形成され、アテローム血栓性脳梗塞やラクナ梗塞の原因となる。抗血小板薬

法は血小板血栓形成を抑制する治療法である。従来、慢性期に使用されていたが、発症早期（48時間以内）にも有効性が明らかとなり、病型を問わず脳梗塞急性期の治療薬として推奨されている。

## 2. 慢性期治療

慢性期治療の目的は再発予防である。この観点からすれば高血圧管理が最重要課題である。糖尿病治療も重要で、高脂血症コントロールがこれに次ぐ。そのためには禁煙、大量飲酒を避ける、過食を避ける、適度な運動をするなど日常の生活習慣改善がポイントとなる。虚血性病変では、薬物治療として血小板凝集抑制薬（アスピリン、チエノピリジンなど）が使用される。心房細動や拡張型心筋症などの器質的心疾患がある場合には抗凝固薬であるワルファリンを投与する。いずれも副作用として出血が強調されるが、アスピリンについて言えば、抜歯に際してアスピリンを中止する必要はない。ただし、内視鏡検査や手術では術前に中止し、術後、可及的早期に再開する。

慢性期外科治療として次のような治療法が挙げられる。くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤は最近の画像診断機器の進歩と適用拡大によって未破裂の状態で見られることが多くなったが、年齢、動脈瘤の大きさ、形などを総合的に判断して治療適応が決定される。アテローム血栓性脳梗塞を併発しやすい内頸動脈狭窄症は、粥状硬化した内膜を摘出する内膜剥離術、あるいは血管内手術でこれを拡張する経皮的血管形成術とステント留置術などが適用となる。また、血行動態的虚血は、浅側頭動脈中大脳動脈吻合術などの血行再建術が行われる。

# 神奈川県立厚木高等学校同窓会 会則

## 第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、神奈川県立厚木高等学校同窓会(略称「戸陵会」と称する。

(事務局)

第2条 本会は、事務局を神奈川県立厚木高等学校(以下「母校」という。)内に置く。

(目的)

第3条 本会は、会員相互の親睦、交流を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦に関する事業
- (2) 母校の発展向上に関する事業
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会員)

第5条 本会は、次の会員により組織する。

- (1) 正会員 神奈川県立第三中学校、同県立厚木中学校及び同県立厚木高等学校の卒業生並びにこれらに在学したことがある者
- (2) 特別会員 母校の現職員及び旧職員並びに役員会の承認を得た者

## 第2章 役員等

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 監事 2名

(役員を選任及び任期)

第7条 役員を選任は、次のとおりとする。

- (1) 役員は、正会員の中から選任し、総会において承認する。
- (2) 前号に規定する役員候補者は、別に定める役員選考委員会において選考する。
- 2 役員任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 会長の在任期間は、連続して2期を超えることができない。
- 4 役員が欠けた場合における補欠役員任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 役員は、任期満了後であっても、後任者が就任するまでは、引き続きその職務を行うものとする。

(役員職務)

第8条 役員職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- (3) 監事は、事業及び会計を監査する。

(理事)

第9条 理事は、会長並びに第12条に規定する支部の推薦により、役員会の承認を得て、会長が委嘱する。

- 2 理事は、理事会を組織し、本会の事業が円滑に推進されるよう協力するとともに、必要に応じて会長に建議をすることができる。
- 3 理事の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 理事が欠けた場合における補欠理事の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第10条 本会に事務局を置く。

- 2 事務局は、事務局長、事務局次長、校内役員及び会計で構成し、会長が委嘱する。
- 3 事務局長は、母校及び会員との連絡・調整、会議の招集事務、その他本会の庶務を行う。
- 4 事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故ある時は、その職務を代行する。
- 5 校内役員は、事務局長及び事務局次長を補佐し、本会及び母校との連絡・調整を行う。
- 6 会計は、本会の出納管理を行う。

(顧問等)

第11条 本会に、名誉会長、顧問及び卒業回別役員を置くことができる。

- 2 名誉会長は、会長経験者で、本会の発展に著しい貢献があった者について、役員会の承認を得て会長が委嘱する。
- 3 顧問は、本会の活動を積極的に協力支援する者について、役員会の承認を得て会長が委嘱する。
- 4 卒業回別役員は、本会と各同期会員との連携強化のための連絡・調整を行う。

### 第3章 支 部

(支部)

第12条 本会は、役員会の承認を得て各地域等に支部を置くことができる。

- 2 支部は、第3条の趣旨に基づいて会則を定め、本部との緊密な連携のもとに、必要な活動を行うものとする。
- 3 支部は、その名称、活動する地域、役員名、事務所等を会長に届け出るものとする。

### 第4章 会 議

(総会)

第13条 総会は、本会の最高議決機関であり、通常総会と臨時総会を開催する。

- 2 総会の議長は、理事のうちから総会の議決を得て選任する。
- 3 総会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数であるときは議長の決するところによる。

(通常総会)

第14条 通常総会は、毎年1会計年度ごとに開催し、会長が招集する。

- 2 通常総会は、次の事項を議決するものとする。
  - (1) 予算及び事業計画を定めること
  - (2) 決算及び事業報告の認定
  - (3) 役員を選任

(4) 同窓会会則の変更

(5) その他本会の運営に関わる基本的事項

(臨時総会)

第15条 臨時総会は、理事の過半数から要求があったとき、又は会長が必要と認めるときは、これを招集する。

(役員会)

第16条 役員会は、会長、副会長及び監事をもって構成する。

2 役員会は、会長が招集し、議長は会長がこれにあたる。

3 役員会は、次の事項について審議する。

(1) 総会に諮るべき事項

(2) その他本会の管理及び運営に必要な事項

## 第5章 会 計

(会費等)

第17条 本会の経費は、次の収入をもって充て、資金の運用については、別に定める。

(1) 入会金 7,000 円

(2) 会 費

① 年会費 2,000 円

② 10年会費 18,000 円

③ 終身会費 30,000 円(ただし、年齢60歳以上の会員に限る。)

(3) 寄付金

(4) 臨時会費及びその他の収入

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 第6章 会則改正等

(会則の改正)

第19条 この会則は、総会において出席者の3分の2以上の同意がなければ、改正することができない。

(委任)

第20条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が役員会に諮り決定し、総会において報告する。

## 附 則

1 本会則は、平成18年8月12日から施行する。

## 付 録

1 同窓会会則(昭和58年8月施行。以下「旧会則」という。)は、廃止する。

2 第18条の規定にかかわらず、平成18年度の会計年度は、平成18年8月12日から始まる。

# 校歌

作詞 荒川義治  
作曲 深山桂

- 一、戸室の丘辺旭日さして  
三剣光り輝く見ずや  
阿夫利の高嶺相模の流れ  
高きに憧れ長きを慕う  
相州健児 あゝわが友
- 二、文化の流れ渦巻くところ  
御国の理想いかしく立てり  
剛毅のかいに和平のかじに  
いざ国進めん雄々しく猛く  
相州健児 あゝ我が友
- 三、我等は若し我等は強し  
我等の前途光明みてり  
思えば昔御国の為に  
尽くせし祖先の功は高し  
相州健児 あゝ我が友

